

青少年ネット被害防止対策事業（ネットパトロール） 平成30年度実施結果について

平成31年4月24日
千葉県環境生活部県民生活・文化課
043-223-2288

県では、青少年がインターネット上のトラブルに巻き込まれることを未然に防止するため、青少年ネット被害防止対策事業（ネットパトロール）を実施しています。この度、平成30年度実施結果を取りまとめましたのでお知らせします。

平成30年度は、4,317人による問題のある書き込みを発見し、そのうち特に問題のあるものについては、学校等を通じて指導・削除等を行いました。

昨年度までに比べ、男子による問題ある書き込みは若干増加しましたが、女子は大幅に減少し、全体として495人減少しました。県では、ネットパトロールを継続し、関係機関と連携・協力しながら、子どもたちの指導や保護につなげていきます。

1 青少年ネット被害防止対策事業（ネットパトロール）について

（1）実施方法

県民生活・文化課に、ネット監視員2名を配置し、県内の原則全ての中学校、高校、特別支援学校等、632校を対象に、生徒が行っているSNSなどについて、監視を行っている。なお、平成28年度から、一部小学校についても試験的に監視を行った。

○問題のある書き込み監視区分（危険度・内容）

	危険度	内容
①	レベル1	・自分自身の個人情報の公開（氏名・学校名・顔写真）
②	レベル2 *	・自分自身の詳細な個人情報の公開
③		・他人の個人情報の公開
④		・個人を特定した誹謗・中傷
⑤		・自傷行為（自殺予告等）
⑥		・暴力・問題行動（飲酒・喫煙等）
⑦		・わいせつ表現（写真等）
⑧	レベル3 *	・少年の刑事事件、自殺に係るもの等

* レベル2と3を「特に問題のある書き込み」としている。

○危険度別自分自身の個人情報の公開の内容について

- ・レベル1・・・氏名・学校名・顔写真の投稿から個人が特定されているもの
- ・レベル2・・・(原則として) レベル1に該当した上、QRコード・住所・電話番号等、直接的なやりとりが容易になる個人情報が投稿されているもの

(2) 問題のある書き込みを見つけた場合の措置

- ・特に問題のある書き込み（レベル2、3）を発見した場合に、教育委員会等に連絡し、削除を含めた生徒への指導を依頼。
- ・自殺、ネットいじめ、事件性の高いものについては、学校、教育委員会、警察など関係機関と早急に対応。
- ・毎月、ネットパトロールの結果と情報を教育委員会等に情報提供し、教員の研修や生徒への指導に役立てるなど、インターネットの安全利用について啓発を実施。

2 平成30年度実施結果

30年度は、前年度から引き続き試験的に一部の小学校（のべ120校）も対象とした。なお、小学校においては、前年度同様、問題のある書き込みはなかった。

(1) 実施状況

ア 実施校数 632校

イ 問題のある書き込み人数 4,317人（29年度 4,812人）

	レベル	平成28年度	平成29年度	平成30年度
内訳	レベル1	3,277人	4,322人	4,012人
	レベル2	641人	490人	304人
	レベル3	2人	0人	1人
合計		3,920人	4,812人	4,317人

ウ 特に問題がある書き込み人数（レベル2、レベル3）305人、書き込み件数402件（29年度490人、661件）

	特に問題のある書き込みの内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度
内訳	自分自身の詳細な個人情報の公開	539件	348件	200件
	他人の個人情報の公開	96件	135件	74件
	個人を特定した誹謗・中傷	16件	17件	12件
	暴力・問題行動	75件	78件	55件
	わいせつ表現	69件	52件	48件
	その他	13件	31件	13件
合計		808件	661件	402件

※ 複数の書き込みをしている人がいるため、人数と件数は一致しない。

※ 「その他」の内容：自殺のほのめかしや拡散被害

エ 男女別

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
男子	1,346人	1,871人	2,051人
女子	2,574人	2,935人	2,262人
不明	0人	6人	4人
合計	3,920人	4,812人	4,317人

オ 学年別

	学 年	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
中 学 生	1 年生	9 人	34 人	14 人
	2 年生	86 人	242 人	131 人
	3 年生	183 人	764 人	407 人
高 校 生	1 年生	1,768 人	1,489 人	1,293 人
	2 年生	1,165 人	1,376 人	1,490 人
	3 年生	604 人	878 人	976 人
	不 明	169 人	105 人	6 人
	合 計	3,920 人	4,812 人	4,317 人

(2) 特に問題のある書き込みの主な事例

- ・友達を増やすために無料通話アプリ（LINEなど）の連絡先をQRコードに変換して、ネット上に公開しているもの
- ・飲酒や喫煙、深夜徘徊がうかがえる様子を撮影したもの
- ・公共の場で悪ふざけをした様子（迷惑行動や自転車の危険運転など）を撮影したもの
- ・友人の裸画像の投稿や、わいせつ画像の貼付等、わいせつな印象を与えるもの
- ・電車や駅構内で、他者を無断で撮影したもの

(3) 平成 30 年度の特徴

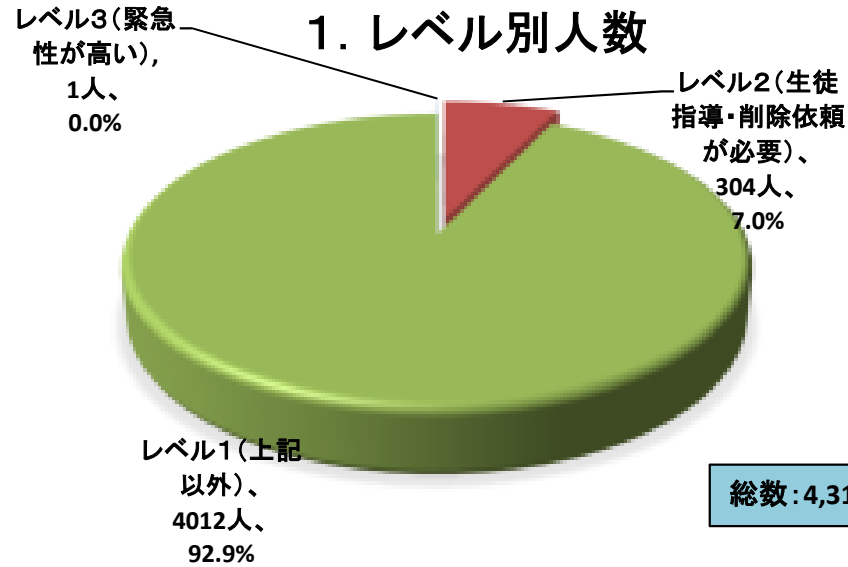
- ・「特に問題のある書き込み」をした人数は、26年度以降、5年連続して減少している。（25年度874人、26年度808人、27年度668人、28年度643人、29年度490人、30年度305人）
- ・平成30年度は刑事事件、自殺に係るレベル3の書き込みは1件であった。
- ・これまでは、女子による書き込みの割合が多かったが、男子の占める割合が増加している。（男子の割合 30年度47.5%、29年度38.9%、28年度34.3%）
（女子の割合 30年度52.4%、29年度61.0%、28年度65.7%）
- ・いじめにつながる誹謗・中傷や、拡散（炎上）事案につながる暴力・問題行動などの発見は少ない件数で推移した。

3 その他（インターネットの適正利用についての普及啓発）

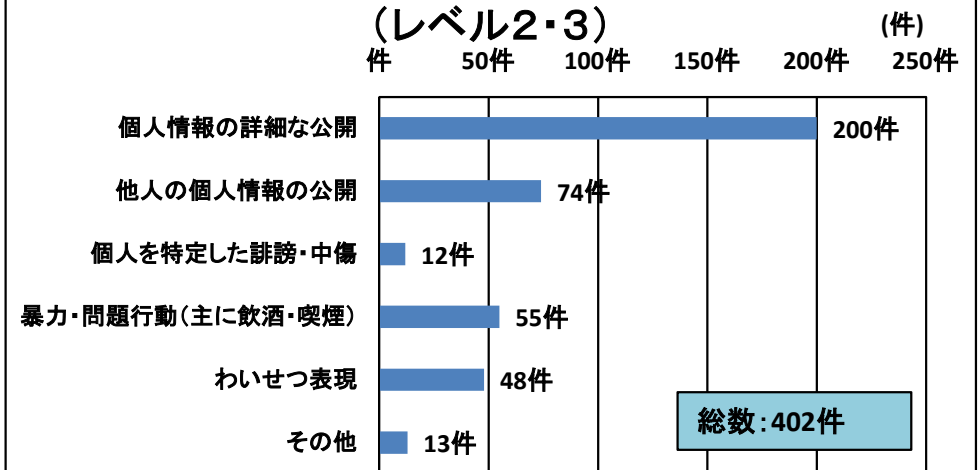
- ・インターネットの適正利用について啓発を行うため、学校、関係機関の要請に応じ、児童生徒、保護者、学校関係者等を対象とする講演会において、職員を派遣し講演を実施している。平成30年度は54回の講演を実施し、14,996人が参加した。（平成29年度 52回21,863人）
- ・県ではネットパトロールの実施を学校や市町村にも働きかけ、地域でも見守る体制の構築に努めている。

ネットパトロールの実施状況 (H30.4~H31.3)

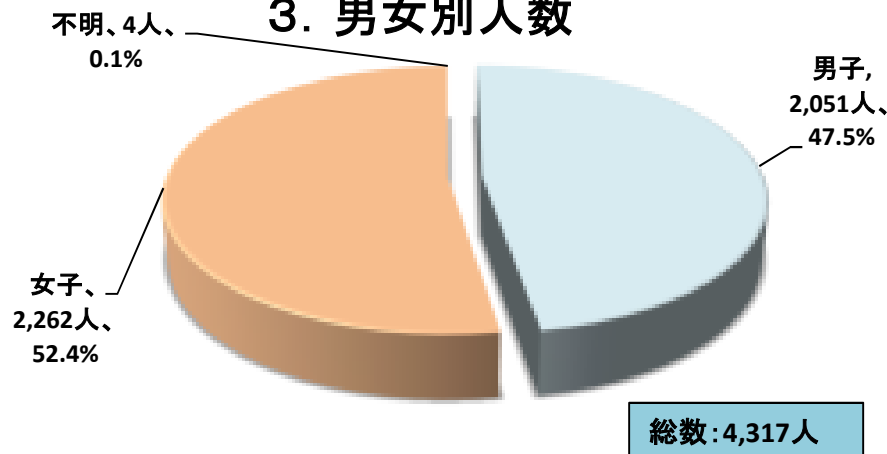
1. レベル別人数



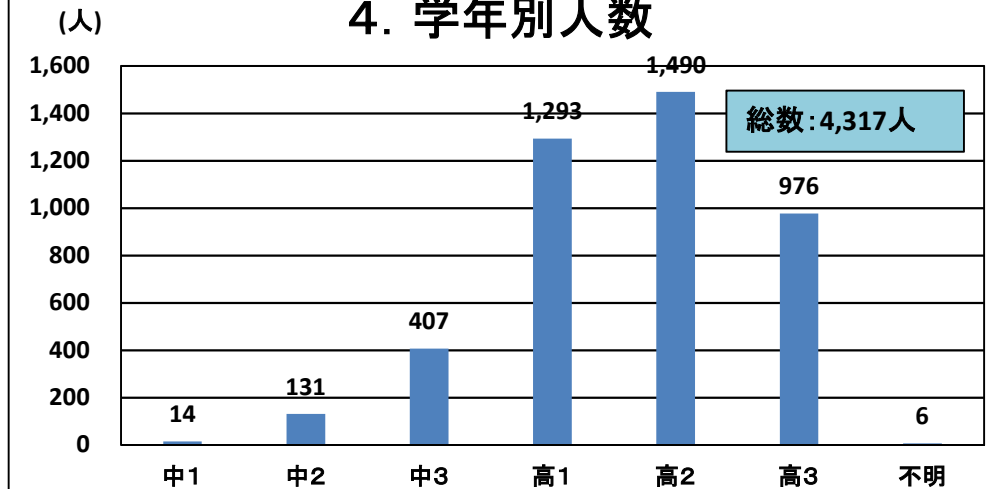
2. 特に問題のある書き込み件数 (レベル2・3)



3. 男女別人数



4. 学年別人数



青少年ネット被害防止対策事業（ネットパトロール）フロー図

千葉県環境生活部県民生活・文化課

事業目的

青少年がスマートフォン、パソコンを通じてインターネットを利用することにより、様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加している。そこで、青少年の利用頻度が高いサイトを監視し、ネットいじめ、非行、犯罪被害等の防止を図る。

